

3 基本理念と基本方針

3-1 基本理念

本市は、悠久の昔から人々の営みが織りなしてきた歴史・文化、水やみどりに恵まれた自然が、私たちの暮らしに調和した魅力あふれるまちです。

私たち長岡京市民が恩恵にあずかる、これらの誇りある風土は、先人たちが築き上げてきた営みの積み重ねであり、子供たちへと継承していく責務があります。また、私たちの暮らしを支え、誇りとゆとりを与えてくれる「みどり」を今以上に磨きをかける必要もあります。

私たちが暮らす社会は、今、人口減少、少子高齢化、ライフスタイルの変化、価値観の多様化など、大きな転換点にあります。また、地球温暖化をはじめとする地球環境問題や生物多様性の保全など、自然環境の保全、創出やみどりのまちづくりに関する市民意識は高まりつつあります。

こうした背景を踏まえ、本計画においては、長岡京市第4次総合計画の将来像である「住みたい 住みつづけたい 悠久の都 長岡京」の実現にむけ、「市民が誇れる風格とゆとりのあるみどり」を基本理念とします。

基本理念

市民が誇れる風格とゆとりのあるみどり

みどりのまちづくりの基本姿勢

みどりで笑顔のまちづくり

みどりを守り育てる
市民の取り組みで、
楽しいふれあいが生まれ
笑顔あふれるまちを
つくります



花やみどりが
まちへの愛着を深める
誇り高いまちをつくります

市民と自然（みどり）が
いきいきとふれあえるまちを
つくります

ここに掲げた基本理念に基づき、本計画を推進していきます。

本計画では、市民の暮らしを取り巻くみどりを増やすとともに、まちの風格の向上、生物多様性の維持・向上など、みどりの質を向上させるとともに、地域特性に応じたみどりの確保を目指します。

そのためには、市民一人ひとりが、私たちの暮らしを支えるみどりのまちづくりに取り組むことが不可欠です。その取り組みにあたっては、「みどりで笑顔のまちづくり」を基本姿勢とし、「みどりを守り育てる市民の取り組みで笑顔あふれるまち」、「花やみどりがまちへの愛着を深める誇り高いまち」、「市民と自然(みどり)がいきいきとふれあえるまち」という3つの視点からのみどりのまちづくりを進めていきます。

3-2 計画の基本方針

基本理念の「市民が誇れる風格とゆとりのあるみどり」については、豊かな自然と歴史に恵まれた個性的なみどりをいかに、活用し、育てるかという視点を重視し、次の基本方針で施策の展開を進めます。

みどりの財産の次世代への継承

本市のみどりの骨格を構成し、市民生活に潤いを提供している、西山、小畑川、小泉川、天神の森などをみどりの共有財産として守り、次世代に継承していくための市民・事業者・行政の協働の取り組みを展開します。

長岡京らしいみどりの保全・育成

本市を特徴づけている自然的・歴史的資源等と一体となったみどりを守り育むとともに、残された樹林や農地、公的空間を積極的に活用するなど、つくるみどりから活かすみどりを重視した取り組みを展開します。

身近なみどりづくりとネットワークの形成

市民が誇れるみどり豊かなまちづくりを進めるため、まち中にきれいな花やみどりを増やすほか、散策利用や川辺、山麓等のピオトープなど、みどりの連続性を重視した市民参加型の取り組みを展開します。

環境にやさしいまちづくりの推進

緑地の保全、緑化の推進とともに、環境学習や環境に配慮した住まいづくりなど、環境にやさしいまちづくりを推進します。

市民・事業者・行政の協働によるみどりの輪づくり

市民・事業者・行政の協働の意識醸成や計画の実効性を確保するため、みどりに関する情報や活動等の公表、行動プログラムづくり、推進体制・支援体制づくりなど市民、事業者、行政の輪をひろげ強める取り組みを展開します。